

令和5年度 Practical English Teaching Seminar A 実施要項

- 1 目的 各学校の状況等を踏まえ、「話すこと（やり取り、発表）」、「書くこと」の3つの領域について、生徒の資質・能力を育成するための指導と評価について学ぶ。
- 2 対象 高等学校及び支援学校（高等部）の英語担当教員

募集人数 30名

- 3 日時等 4月1日以降の変更部分に網掛けをしています。

回	日時	主題等	講師等
1	6月2日（金） 14:00～17:00	「論理・表現Ⅰ」の指導と評価 〔講義・協議〕	玉川大学 教授 工藤 洋路 大阪府教育庁 指導主事等 大阪府教育センター 指導主事等

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
(4) 事前に準備しておく事項があるので、研修対応ポータルサイトを必ず確認すること。
- 6 担当室 高等学校教育推進室、高等学校課

個別募集

1 目的

各学校の状況等を踏まえ、「話すこと（やり取り、発表）」、「書くこと」の3つの領域について、生徒の資質・能力を育成するための指導と評価について学ぶ。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期										○	○	○			
第1期										○	○	○			
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	「論理・表現 I」の指導と評価	「論理・表現 I」において、英語の到達段階に応じた生徒の資質・能力を育む指導と評価について理解する。	「論理・表現 I」の教科書を用いた効果的な言語活動と評価の方法を学ぶ。	準備物 使用している教科書 または副読本